









MEMOREAD

コマンドリファレンス

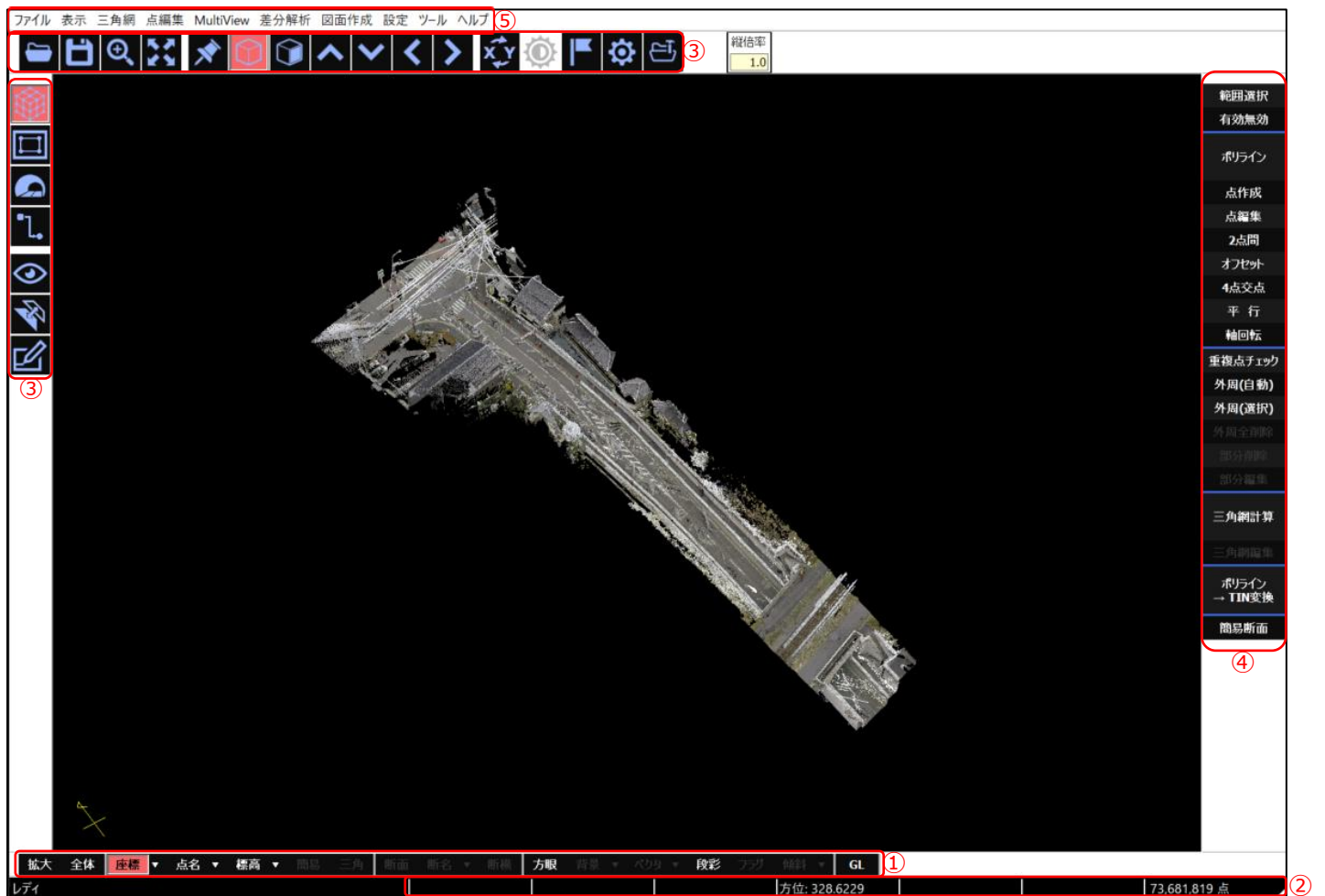
2024年9月12日 版



1. マウス・キー入力 操作ガイド


















拡大・縮小		マウスホイールを回転
表示範囲の移動		右ボタンでドラッグ
垂直軸回転(3D表示中)	Shift or Alt +  または → 	キーを押しながらドラッグ または 左サイドボタンでドラッグ
前後軸回転(3D表示中)	Ctrl + 	キーを押しながらドラッグ
縦倍率の変更(3D表示中)	Alt + 	キーを押しながらホイールを回転
縦倍率を 1.0 倍に戻す (3D表示中)	Alt + 	作業画面内でキーを押しながらホイールをクリック
各ダイアログ内で 数値入力欄の数値を増減		薄黄色になっている入力欄内を左クリックしてから、マウスホイールを回転

2. 画面構成



- ① ツールバー：表示制御ツールの表示・非表示を切り替えます。
- ② ステータスバー：マウスイカーソルのXY座標、ドラッグ時の距離・方位、作業領域の横幅・縦幅、表示中点群の総点数を表示します。
- ③ 作業種別ツール：各機能のショートカットアイコンが並んだツールバーです。
- ④ MEMOREAD 機能一覧：一覧から各機能を使用します。
- ⑤ メニューバー：各機能はこのメニューから実行可能です。また、このメニューからのみ実行可能な機能もあります。

3. 基本操作ツール

	点群ファイルを開きます。
	編集中のファイルを保存します。
	指定範囲を拡大します。
	全体表示します。
	3Dの回転中心座標を指定します。
	3D表示を ON/OFF します。
	側面(3D)表示を ON/OFF します。
	3D表示時にデータを上に向けます。
	3D表示時にデータを下に向けます。
	3D表示時にデータを左に回転します。
	3D表示時にデータを右に回転します。
	XY反転を行います。
	光源の位置を設定します。
	テキストフラグを編集します。
	設定を変更します。
	作業フォルダを指定します。
	3D表示の縦倍率を設定します。

4. 作業種別ツール

	点群から 3D モデル作成・編集を行います。
	図面から 3D モデル作成・編集を行います。
	トンネル 3D モデルの作成・編集を行います。
	座標変換を行います。
	Multi View を起動します。
	差分解析を行います。
	横断面図作成を行います。

5. メニューバー

ファイル(F)		
ランダムデータを開く		既存のランダム点データファイルを読み込みます。
ランダムデータを上書き保存		作業中のデータを、ファイル名・保存場所を変更せずに上書き保存します。
ランダムデータに名前を付けて保存		作業中のデータにファイル名を付けて保存します。
ランダムデータ合成		2つのランダムデータを合成し、重なった領域を更新します。 再測データの更新や現況・計画データの合成に使用して下さい。
ランダムデータ合成 (橋梁トンネル用)		橋梁・トンネルのランダムデータ合成を行います。
外周読込		外周保存で保存した外周データを読み込みます。
外周保存		任意のファイル名で外周データだけを保存します。
横断		横断データのコントロールを行います。
外部データ 読込		指定した形式のデータを読み込みます。
ランダムデータ外部出力		ランダムデータ外部出力のコントロールを行います。
横断データ外部出力		横断データ外部出力のコントロールを行います。
作業フォルダ指定		任意のフォルダを作業用に設定します。設定されたフォルダが、ファイルの読み込みや書き込み対象のフォルダとなります。
データクリアー		チェックした項目をメモリ上から消去します。
表示パラメータ保存		現在表示している情報 (表示制御、視点位置・方向) を保存します。
MEMOREAD View 配布用データ作成		作成中のデータを MEMOREAD View データとして出力します。
最近追加したファイル		最近追加したファイルを表示します。
アプリケーションの終了(X)		MEMOREAD を終了します。
表示(V)		
指定範囲拡大		マウスで指定した領域を拡大表示します。
拡大		表示倍率を上げます。
縮小		表示倍率を下げます。
全体表示		データ全体が見える表示倍率にします。
3D 回転中心設定		3D の回転中心座標を指定します。
3D 表示		3D 表示を ON/OFF します。
側面表示		側面(3D)表示の ON/OFF を切り替えます。
上に向ける		3D 表示時にデータを上に向けます。
下に向ける		3D 表示時にデータを下に向けます。
左に回転		3D 表示時にデータを左に回転します。
右に回転		3D 表示時にデータを右に回転します。
初期化		3D 表示の初期状態に戻します。
表示設定	ランダム点表示	ランダム点の表示・非表示を切り替えます。
	ランダム点カラー表示	色情報を持ったランダム点の色表示を有効にします。
	ランダム点受光強度表示	受光強度情報を持ったランダム点の受光強度表示を有効にします。
	点名表示	点名の表示・非表示を切り替えます。

	標高表示	標高値の表示・非表示を切り替えます。
	三角網表示	三角網の表示・非表示を切り替えます。
	断面表示	設定した断面を表示します。
	横断表示	横断の表示制御を行います。
	方眼表示	ウィンドウ内に方眼を表示します。
	段彩表示	段彩表示の制御を行います。
	テキストフラグ表示	テキストフラグの表示制御を行います。
背景表示	背景画像表示	背景画像選択で選択された BMP/TIFF/JPEG/PNG ファイルの表示を行います。
	背景画像選択	背景表示する画像ファイル (BMP/TIFF/JPEG/PNG ファイル) を選択します。
	背景パラメータ設定	背景表示する画像ファイルのパラメータを設定します。 ランダムデータと画像ファイルの位置関係を調整するダイアログを表示します。
	背景ベクタ表示	背景ベクタ選択で選択されたベクタファイルを表示します。
	背景ベクタ選択	背景表示するベクタファイルを選択します。 ファイル選択ダイアログに従い、ファイルを選択して下さい。
	背景ベクタパラメータ設定	背景表示するベクタファイルのパラメータを設定します。 ランダムデータとベクタファイルの位置関係を調整するダイアログを表示します。
	ベクタ座標情報	背景表示されているベクタデータの座標情報の表示およびランダム点データ作成を行います。 表示する座標は当プログラムで補正計算された値を表示します。
	ベクタを三角網に乗せる	背景表示されている 2次元ベクタデータを 3次元表示します。
	ベクタを背景画像に変換	背景表示されているベクタデータを内部的に画像データに変換します。
	背景画像を保存	現在表示されている背景画像 (ベクタを内部的に画像データに変換したものを含む) を BMP または TIFF 形式で保存します。
	ポリライン	点群データを参照し、線分・ポリライン・文字等のベクタデータを作成します。
	国土地理院	国土地理院タイルに関する操作を行います。
	ランダム点カラーを背景画像に変換	色情報を持ったランダム点から平面図用画像を作成します。 ピクセル拡大によるピクセル間補間処理を行います。
	ツールバー	作業種別ツール
基本操作ツール		基本操作ツールバーの表示・非表示を切り替えます。
表示制御ツール		表示制御ツールバーの表示・非表示を切り替えます。
光源設定		光源の向きを設定します。
全体図		全体図の表示・非表示を切り替えます。
テキストフラグ		テキストフラグの登録、編集、削除を行います。
差分色凡例		差分解析結果の色凡例表示 ON・OFF を切り替えます。

三角網	
重複点チェック	ランダムデータに重複点が存在しないかチェックします。
外周(自動)	外周を自動計算します。外周指定された範囲内が、三角網計算の対象範囲となります。
外周(選択)	マウスで外周を指定します。外周指定された範囲内が、三角網計算の対象範囲となります。
外周全削除	すでに指定された外周をすべて削除します。
外周部分削除	すでに指定された外周の一部を削除します。
外周部分編集	すでに指定された外周の一部を編集します。
三角網計算	外周指定された内部に三角網を自動計算します。
三角網編集	計算された三角網を編集します。
未使用点三角網削除	未使用点で指定されている三角網を削除します。橋梁等のデータを合成した場合に有効です。
中抜登録	中抜の範囲を設定します。
中抜削除	中抜登録を削除します。
中抜解除	中抜登録を解除します。
中抜反転	中抜登録範囲の内外を反転します。
精密網体積計算	2つの三角網データからボリューム計算を行います。
簡易断面	指定された2点間の断面形状を表示します。
点編集	
点作成	マウスで指定した位置にランダム点を追加します。
点編集	現在読み込まれているランダムデータを編集します。
2点間	指定された2点間にランダム点を追加します。
オフセット	指定された点を基準にランダム点を追加します。
4点交点	指定された4点で交点計算を行い、ランダム点を追加します。
平行	指定された点列に平行なランダム点を追加します。
回転複写	基準点を指定し、移動・回転・複写を行います。
有効・無効	三角網計算に使用する点、使用しない点を切り替えます。
有効・無効 領域編集	選択領域ごとにランダム点の有効・無効処理を行います。
軸回転	回転基準点を指定し、傾きと方向を入力して軸を回転します。
範囲選択	標高値、使用・未使用、点名、プロット条件などを入力し、指定された範囲のデータを一括編集・複写します。
未使用点削除	未使用の点を削除します。
トンネル展開	トンネル形状のデータで三角網作成を行います。
一覧表	座標一覧を表示します。
XY反転	ランダム点、背景ベクタのXY座標を反転します。
Multi View	
Multi View	Multi View を起動します。
差分解析	
差分解析	差分解析を行います。

横断面作成	
断面設定	マウスで指定した 2 点で断面データを作成します。
断面一覧	断面一覧ダイアログを表示してキーボードより入力、編集を行います。
断面編集	ランダム点を指定し、切り出し位置の編集を行います。また、登録した切り出し位置の削除も行います。
断面削除	設定した断面を削除します。
横断計算	点群及び三角網から横断計算を行います。
横断表示	横断面のダイアログを表示します。
横断テキスト編集	テキスト形式の横断データ編集プログラムを起動します。
横断面図	現況横断面図のダイアログを表示します。
設定	
設定	各種設定のダイアログを起動します。
ツール	
点密度編集	点群を指定の密度に変更し、三角網計算を行います。
座標変換	ランダムデータおよび、CSV データの座標変換をして新しいデータファイルを作成します。
ポリライン→TIN 変換	DXF を TIN データに変換します。
ヘルプ	
ヘルプ	ヘルプを表示します。
表示情報	画面スクリーンショット用の中心 X 座標、中心 Y 座標、スケール、方位角、上下角、目標点高度の情報ダイアログを表示します。
バージョン情報(A)	アプリケーションのバージョン情報を表示します。